

令和5年度 東京都立世田谷総合高等学校 学校経営計画

東京都立世田谷総合高等学校長

佐藤 信孝

1 目指す学校像 「宝のカギが見つかる場所-----世田谷総合」

(1) 育成目標

心身ともに逞しくしなやかに、これからの時代を生き抜く人材育成

(2) 育成目標の達成に向けて

- ① 全教職員が総合学科高校について深く理解し、ワンチームとなり、3年間を通じたキャリア教育に注力する。
- ② 生徒は多岐にわたる選択科目群から「学び」を選択し取り組むことで、豊かな自己実現に向けてのより積極的な意欲醸成を目指す。

(3) 育成目標達成のための、スクールミッション（目指す生徒像）

- ① 幅広い分野で想像力を発揮できる生徒
- ② 他者と強調して社会に貢献できる生徒
- ③ 困難に挑戦し課題解決できる生徒

2 中期目標と方策

(1) 進路・キャリア教育

【目標】組織的、系統的なキャリア教育と学習指導を一体化させることで、一人一人の生徒がより具体的な将来へのビジョンを持ち、自ら最も望む進路実現を目指す生徒を育成する。

【方策】3年間で学ぶ「キャリアデザイン」「人間と社会」「課題研究」を充実させるため、大

学

等、外部機関との連携や外部人材の活用等を一層推進する。

(2) 国際理解教育

【目標】グローバル社会への対応、学校の特色化として国際理解教育を推進し、新規事業として海外研修を実施する。

【方策】① 諸外国における高等学校との交流を推進する。

② ベトナムにおける海外研修を実施する。

③ 地域連携として大使館との交流を図る。

(3) 教科・学習指導

【目標】ものづくり・芸術、国際理解、情報、生活、科学、社会等、各分野の専門性を生かした学習を通じて、生徒の主体的な学習と学力の向上を推進する。

【方策】① 授業の時間を大切にするとともに、自宅学習を習慣化させる。

② 教科会を活性化させ、教科内や教科間で教員どうしの情報交換を活発にする。

(4) 生活指導・特別活動

【目標】生徒が主体的に学校行事・部活動等に取り組むことで、効果的に成果を上げる支援をする。

【方策】① 人権教育や生活指導を軸に、学校生活全般において、規則・規律・マナー・倫理観・使命感を醸成する。

② 主権者教育を推進し、社会貢献と公共心の意識を涵養する。

(5) 教育相談

【目標】生徒が互いを尊敬・尊重し合い、互いに高め合う心の育成を図る。

【方策】① いじめや体罰の無い学校づくりに向け、諸調査等により、未然防止・早期発見・早期対応に努める。

② 教職員・保護者・地域との連携を密にし、安全・安心な学校づくりを推進する。

③ 教育相談体制を構築し、自殺予防等生命尊重や個別の支援教育を計画的に行う。

(6) 危機管理

【目標】生活・交通・災害における安全とサービス事故の防止を徹底する

【方策】① 日頃より教員向けのサービス事故防止研修を実施し、事故を無くす。

② 避難訓練や救命救急講習等の実施により、危機を回避する手法を身に着ける。

(7) 広報活動・募集対策

【目標】本校の特色を生かした個性的な発信により、多くの方からの好感度を向上させる。

【方策】① ホームページやツイッター等を活用して、本校における特色のある教育活動や施設を随時発信する。

② 地域の中学校生徒・保護者に向けた学校 PR を積極的に行う。

(8) 学校経営・組織体制

【目標】全教職員が良好な関係を築いて連携し、教科・分掌・経営企画室が組織的・横断的に機能しながら特色ある教育活動を実践・発信する。

【方策】① 各分掌主任・教科主任がミドルリーダーとして機能する組織を運営する。

② 職員室と経営企画室の良好な連携により、業務の円滑化を図る。

③ 業務内容に重み付けをして効率化を図ることで、ライフ・ワーク・バランスを

促

進する。

④ 学校運営連絡協議会等を活性化し、地域と連携しながら広く本校の学校運営について周知する。

3 今年度の取組目標と方策

教育活動の目標と方策 ◆重点(数値)目標と方策

(1) 進路・キャリア教育

① すべての教員が、総合学科におけるキャリア教育の在り方を十分に理解し、その手法について絶えず研鑽を積みながら、一人一人の生徒に対し、学習活動領域におけるあらゆる場面をとらえて実践指導を行う。社会人基礎力を育成するために、NPO等と協働した指導体制を構築する。

- ② 各教科間連携を密にし、生徒による課題研究の取組を多角的に支援する。
 - ◆生徒のキャリア教育満足度 92% (R4:90.6% R3:89.8% R2:88.7%)
 - ◆課題研究の成果を生かした総合型選抜入試の利用件数 20 件 (R4:15 件)

(2) 国際理解教育

- ① 本校の施設・設備・人材を十全に活用し、世田谷総合高等学校の総合学科としての特色が明確に認められる教育活動を展開する。
- ② 有為の外部人材との連携を深め、海外関連の研修・講演会を設定する。ものづくりを基盤にした国際交流を通して主体的な学びを実践する。
- ③ 海外学校間交流推進指定校として、フランス・韓国・トルコ・ベトナム・ルワンダ等の交流を実践する。
- ④ オンライン交流とともに、対面交流の実現を図る。いけばなインターナショナルをはじめ、ものづくりや部活動を基盤とした国際交流イベントに積極的に参加する。
 - ◆国際交流イベント実施件数 18 件 (R4:14 件)

(3) 教科・学習指導

- 向
- ① 「心身ともに逞しくしなやかに、これからの時代を生き抜く人材育成」に向け、授業力の向上を目指す。
 - ② 常に生徒の興味関心を喚起し、各教科の学習の中で主体的、対話的で深い学びを推進する。
 - ③ 教員相互の授業参観をすべての教員が年間を通じて複数回行い、授業力を研鑽する。
 - ④ デジタル技術を活用した教育活動を積極的に推進するための研修を実施し、全教員が効果的なオンライン授業のスキルを向上させる。
 - ◆各種検定（英検・漢検）2級レベル取得者数合計 20 以上 (R4:9 名 R3:16 名、R2:17 名)
 - ◆全教科における教科指導で M365 活用実績 100% (今年度からの目標)

(4) 生活指導・特別活動

- ① 基本的な生活習慣を確立し、社会人として自立した生徒の育成に取り組む。
- ② 規則・規律・マナー・倫理観についての指導を、すべての教職員が共通理解を持って取り組む。
- ③ 学校行事や部活動において、創意工夫のある計画を立案し、充実した活動を実現できるよう指導する。
- ④ 他者との協働や帰属意識、互いに高めあう集団作りに重点いた指導を実践する。
 - ◆部活動加入率 80% (R4:73% R3:72% R02:68%)

(5) 教育相談

- ① すべての職員が協働して生徒の体力向上と心身の健康づくりを増進させる。

- ② 保健相談やカウンセリング体制を教職員・保護者に対して可視化し、柔軟で漏れのない相談体制を整備する。また、スクールカウンセラーとの連携を強化し、校内研修を活用しながら学校全体の教育相談力を向上させ、生命尊重教育をあらゆる機会をとらえて行い、自殺予防に組織的に取り組む。
- ③ 自殺予防に関する取組みを組織的に推進する。
- ④ 特別支援教育に関する情報・知識を全職員が共有し、適切な対応ができる体制を整備する。
- ⑤ アンケート調査等を実施し、校内でいじめや体罰を絶対に許さない風土を醸成する。
 - ◆いじめ・体罰 0 件 (R4:0 件 R3:0 件 R2:0 件)

(6) 危機管理

- ① 日頃より教員向けのサービス事故防止研修を実施し、サービス事故をゼロにする。
- ② 安全・安心な学校であることに最大限の注意を払い学校を運営する。
- ③ 防災教育の充実や交通安全推進に力を入れ、危機を回避する手法を身に着ける。
 - ◆重大事故事案発生件数 0 件 (R4:0 件 R3:0 件 R02:0 件)

(7) 広報活動・募集対策

- ① SNS等を活用しながらタイムリーに情報発信を行う。学校の特色を紹介し、生徒の学校生活での成果や本校の魅力を積極的に中学生や保護者、都民に発信していく。教職員が各自積極的にホームページ更新に関わり、活発な広報活動を展開する。
- ② 各種学校説明会・出前授業にすべての教職員が関わり、入学者選抜における応募倍率を一層向上させる。また、比類ない充実した施設・設備を活用した授業公開や、多様な選択科目の参加体験等を積極的に実施する。
 - ◆入学選抜応募倍率 推薦選抜 2.50 倍 (R4:2.44 倍 R3:2.26 R02:1.95 倍)
第一次学力選抜 1.35 倍 (R4:1.30 倍 R3:1.13 R02:1.01 倍)
 - ◆外部会場での学校説明会 15 件 (R4:○件 R3:12 件)
 - ◆Twitter での情報発信 50 件 (R4:○件 R3:40 件)
 - ◆YouTube での情報発信 100 件 (R4:○件 R03:18 件 R02:3 件)
 - ◆ホームページ更新回数 400 件 (R4:450 件 R3:362 件 R02:354 件)

(8) 学校経営・組織体制

- ① 教職員一人一人が、本校の「強み」をよく理解し、それぞれの立場で積極的に学校経営に参画できる組織を構築する。
- ② 全教職員が心身の良好な健康状態に留意しながら、風通しの良い職場環境を作る。ライフ・ワーク・バランス推進し、業務の効率化を図る。また、超過勤務縮小の取組みを実践する。
- ③ 企画調整会議・分掌部会・教科会・教科主任会を活性化させ、意見交換できる環境を整備する。
- ④ STEP (PTA 組織) と円滑に連携し、保護者からの理解を深め、学校と家庭の教育環境を整備する STEP と連携して募集対策につながる活動を積極的に実施する。
- ⑤ 教職員・保護者・地域との連携の下、安全・安心な学校づくりを推進する。
- ⑥ 経営企画室において、学校経営目標を十分に反映した予算編成と適正な事務の執行をす

る。

◆地域との連携事業の実施 5件（今年度からの目標）

◆都民公開講座の実施 3種類3講座（R4:3件 R3:3件 R2:0件）

4 令和5年度 各教科の目標

【国語】

1 生徒に達成させるもの

- ・漢字検定準2級以上に合格できる語彙力を身につける。
- ・自ら問いを立てて探究する力を身につけるため、図書館の利用を増やし、読書数を増やす。
- ・他者とのかかわりあいの中で学びを深めるため、発表等を通じて、人に伝える力を身につける。
- ・予習復習を欠かさない学習態度を育て、一般入試にも対応できる基礎学力を身につける。

2 教員が達成するもの

- ・小論文指導や志望理由書添削に関する研修や、授業力向上研修など校外の研修へ年1回以上参加する。
- ・定期的な教科会を開催して授業の情報共有などを図り、教材研究を深め授業力向上を目指す。
- ・個々の学力を伸ばすため、放課後の補講や長期休業中の講習など、学力向上のための指導を行う。

【地理歴史・公民】

1 生徒が達成するもの

(1) 地 理

人々が生きる世界の構造を諸情報から読み解くとともに、取り巻く自然環境と生活・文化との関連について考察させる。また、現代の様々な諸課題について主体的に思考・判断し、解決に向かう力を身に付けさせる。

(2) 歴 史

国際化する世界において、世界と我が国の歴史を関連付けながら、多様性理解の基礎となる歴史的知識を身に付けさせる。また、主体的に課題を設定し、諸情報を活用しながら考察する力を身に付けさせる。

(3) 公 民

民主的な我が国並びに各国の政治的諸制度の成り立ちについて理解する力を身に付けさせる。また、一体化する世界における経済活動とそれに伴う諸課題について、主体的に課題を設定し、考察させる。さらに、古代から現代までの人間の英知について学ぶことにより、平和で民主的な社会の形成者としての資質を身に付けさせる。

(4) 全 体

年間を通して3回以上探究活動を行い、主体的に課題に取り組み、解決に向かう力を身に付けさせる。

2 教員が達成するもの

各学期1回以上の教科会並びに2カ月に1回以上開催する教科内研修において、授業改善の方策を探る。その結果、授業評価アンケートにおいて、生徒から8割以上の肯定的評価を得る。

【数学】

1 生徒に達成させるもの

- ・ 計算力等の基礎・基本の定着（知識・技能）
→ 基本的概念を理解し、数学的に解釈することや数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- ・ 数学を通して伝え合う・教え合う力を身に付けること（思考力・判断力・表現力）
→ 適切な手法を選択して問題を解決する力や、解決の過程や結果を考察し互いの意見を伝え合うことで表現する力を養う。
- ・ 学習に取り組む姿勢を身に付けること（主体的に学習に取り組む態度）
→ 授業準備の徹底や授業規律の遵守、提出物の期日厳守（提出率 100% へ）

2 教員が達成するもの

- ・ 基礎基本の指導の徹底→ 授業の実施だけでなく、定期的な課題設定による学習習慣の定着を目指す。
- ・ 質問会の設定→ 定期考査前を中心に、学習フォローの場を設け、生徒の理解度向上を補助する。
- ・ 理数系進学希望者へのサポート体制の整理→ 選択教科受講者を中心に、個別相談や進学相談に応じる。

【理科】

1 生徒に達成させるもの

自然の事物・現象に関心を持ち、積極的に探究しようとする態度を身につける。また、そのために必要な知識、観察・実験等の技術を身につける。そして、それらから得られた結果を科学的に分析、判断し、正しい結論を導き出す力を養う。

2 教科の教員が達成するもの

生徒の実態に合った授業を工夫し、定期考査での平均点が 60% 以上、かつ 50% 以上得点する生徒が半数以上になるよう努める。また、授業アンケートにおいて生徒から 8 割以上の肯定的評価を得る。

【保健体育】

1 生徒に達成させるもの

- ・ 各種運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- ・ 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・ 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 教科の教員が達成するもの

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。

【芸術】

1 生徒に達成させるもの

- ・芸術 I では基礎的な技能と豊かな感性を育む
- ・専門科目では、受験に対応できる力、通用する力を育む

2 教員が達成するもの

- ・講習会を充実させる → 夏休みでは3週間の講習会を開催する。
- ・現場の教員のも芸術という教科の理解を促す → 陶芸講習を行う。
- ・モチーフ研究・研修会を行う → 特別推薦のためモチーフの研究を美術科全員で行い、受検生に最適な課題を考える。

【外国語】

1 生徒に達成させるもの

卒業時に 20%以上の生徒が英検二級、40%以上の生徒が英検準二級レベルに到達することができる。

<そのために、>

- ・高校3年生向けに CEFRA2～B1 レベルの講座を通年開講する
- ・高校1・2年生向けに英検対策講座を長期休業と試験直前に開講する
- ・1年次より、英検を年1回全員が受験し、課題と到達度を確認させる。

2 教員が達成するもの

(1) 卒業時に 20%以上の生徒が英検二級、40%以上の生徒が英検準二級レベルに到達することができるように指導することができる。

<そのために、>

- ・一人3回以上相互に授業観察をする。
- ・ICT 機器やデジタル教科書、ループリック作成、に関する研修会を3回以上行う。

(2) 生徒募集活動に貢献する

<そのために、>

- ・体験授業を校内外で積極的に行う
- ・公開講座を行う

【家庭】

1 生徒に達成させるもの

- ・人間の健全な発達と生活の営みを総合的に捉え、家族、家庭の意義、高齢者や保育、社会保障に対する問題、家庭経済と社会の関わりについて理解する。
- ・生活を営むために必要な衣食住や消費生活などに関する知識や技術を総合的に身につける。
- ・ライフプラン考察や各実習等を通し、男女が協力して自分から進んで生活を創造する能力と実践的態度を身につける。

2 教科の職員が達成するもの

- ・生徒の自立に向け、上記内容を身につけられるよう努める。

【情報】

1 生徒に達成させるもの

情報や情報技術に自ら主体的に能力と態度を身に付けさせる。

- ・ワープロ・表計算の科目において、受講者全員の3級取得を目指す。
- ・「情報I」においては、課題研究にむけて全員がプレゼンテーションできる。

2 教員が達成させるもの

情報や情報技術に自ら主体的に能力と態度を育てる。

- ・資格取得に向けた教材研究や補講を実施する。
- ・学習支援システムや Office ソフトの活用について、研究し、生徒に指導する。

【工業】

1 生徒に達成させるもの

・旋盤や各種溶接機などの基本操作に習熟し、工作技術を高め年間を通じて3つ以上の作品製作を行う。安全で適切な機器操作と加工技術を身に付け、将来にわたり、様々な場面で社会貢献のできる技能と意識を身に付ける。

2 教科の職員が達成するもの

・生徒が安全かつ確実に技術習得ができるよう、溶接・切削・研磨・穿孔の各分野において、各種研修会に積極的に参加し、十分な技能を習得する。

・学校所有の各種大型工作機械の安全管理とメンテナンスに習熟し、必要に応じて外部に適切な保守依頼のできる専門性を高める。

・CADによる設計と工作技術の向上を目指し、本校の「ものづくり」をベースとした国際交流の一翼を十分担えるよう研鑽し、工作物のアイデアを校内外に向けて積極的に発信していく。